



所 管	公益財団法人 恵那市文化振興会		
担 当	金森 麻友	問い合わせ	0573-26-6917

報 道 機 関 御 中

市制 20 周年記念第 317 回恵那文化劇場 「イタリアの風を感じる時」の開催について

オペラの殿堂ミラノ・スカラ座で長年首席を務めたフルート奏者を中心に結成されたアンサンブル・クラシカ・トリオ。名演奏トリオが奏でる本物のイタリア音楽を、本市出身の声楽家岡田如実さんとともにお届けするコンサートを開催します。

本コンサートでは、市制 20 周年を記念して、子どもたちと「ふるさと」を合唱する予定です。ステージで一緒に合唱する小中学生を募集しますので、広く周知いただくとともに、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

記

1. 日 時 令和6年10月17日（木曜日）午後6時開場、6時30分開演
2. 場 所 恵那文化センター大ホール
3. チケット料金 全席指定：1,500円（税込）
高校生以下無料
※席の確保は必要（取り扱いは恵那文化センターのみ）
4. チケット取扱 恵那文化センター、チケットぴあ（Pコード 276-699）、ヤマオカショップみうらや（山岡町）、タックメイト松屋（岩村町）、中津川文化会館（中津川市）、瑞浪市総合文化センター（瑞浪市）



市公式キャラクター
『エーナ』



5. 出演者 アンサンブル・クラシカ・トリオ
ファビオ・スプルッツォラ氏 (ギター)
ロマーノ・プッチ氏 (フルート)
イヴァーノ・ブランビッラ氏 (マンドリン&クラリネット)
岡田如実氏 (声楽家)
- <岡田氏プロフィール>
声楽家・合唱指揮者・ヴォイストレーナー。
武蔵野音楽大学声楽科卒業。
一流音楽家との共演や多岐に渡る演奏家を郷里に招く文化事業にも貢献。コールONE(大垣市)、コーラス・アンダンテ(安八町)等の指揮者を務め、全日本合唱コンクールグランプリ(岐阜県大会)、宝塚国際室内合唱コンクール出場、アンサンブルコンテスト全国大会(福島県)出場などに導く。
6. 募集 名演奏トリオと岡田氏の歌声に合わせて、ステージで「ふるさと」を一緒に合唱したい小学生・中学生を募集します。
(1) 対象者 小学生・中学生・高校生(保護者同伴)
※当日午後5時に行う練習に参加できること
(2) 申込方法 文化の窓ウェブサイトから申し込む
7. 主催 恵那市、公益財団法人恵那市文化振興会
8. その他 コンサートに先駆けて、出演者が岡田氏の母校でもある山岡中学校を訪問します。山岡小学校・中学校の児童・生徒を対象に歌と演奏を披露し、質の高い文化・芸術に触れる機会を提供して豊かな心を育む後押しをします。
日時、場所などは、後日情報提供します。

恵那市制 20 周年記念 第 317 回 恵那文化劇場

ENSEMBLE CLASSICA TRIO

& 岡田如実

～ イタリアの風を感じる時～



ENSEMBLE CLASSICA TRIO

2024 **10/17** 木 開場 18:00
開演 18:30

恵那文化センター 大ホール

チケット

全席指定 / ¥1,500- (税込)

高校生以下無料 (席確保、恵那文化センターのみ取扱)

※未就学児入場不可

チケット発売

8月17日(土)午前10:00から

お問合せ

TEL0573-26-6917 (公財)恵那市文化振興会

主催

恵那市・(公財)恵那市文化振興会

◆ チケット取扱

- ・恵那文化センター
- ・(山岡町)ヤマオカショップみうらや
- ・(岩村町)タックメイト松屋
- ・(中津川市)中津川文化会館
- ・(瑞浪市)瑞浪市総合文化センター
- ・チケットぴあ Pコード 276-699



岡田 如実 *Kotomi Okada* ソプラノ

武蔵野音楽大学音楽学部声楽学科卒業。声楽家・合唱指導、指揮・ヴォイストレーナー。クラシック音楽を軸に、ただそこに留まらないジャンルの垣根を越えた演奏家との共演が音楽活動の幅を広げる。名古屋フィルの主要メンバーで結成された『トリオ de ブランチ』、外国人アーティストと絡んだ演奏も盛んに行う。MusicaeAidを立ち上げ、仲間とともにチャリティーコンサートを開催。闘病中のピアニスト、ジョヴァンニ・アレヴィにエールを送るため大垣で開催されたアーティスト支援コンサートではプロジェクトを主導する。その他、県外、海外より演奏家を郷里に招いた文化事業にも貢献している。コールONE(大垣市)、コーラス・アンダンテ(安八町)等の指揮者を務め、全日本合唱コンクールグランプリ(岐阜県大会)、宝塚国際室内合唱コンクール本選出場、アンサンブルコンテスト全国大会(福島県)出場などに導く。水野百合子、山田実、MarziaCastellini各氏に師事。



ENSEMBLE CLASSICA TRIO

オペラの殿堂ミラノ・スカラ座のオーケストラで28年の間フルートの首席奏者として活躍してきたロマーノ・ブッチ。そのマエストロ第二の人生こそアンサンブル・クラシカ・トリオである。

演奏する楽曲すべてのアレンジを手掛けながら、舞台ではギター抱えてリズムベースを刻むファビオ・スプルッツォラ。クラリネットを曲想やアレンジによってはマンドリンに持ち替えることでレパートリーの幅を広げているイヴァーノ・ブランビッラ。そこにロマーノの卓越したフルートが加わることでアンサンブルが完結する。オペラをはじめとするクラシック音楽、カンツォーネなど庶民的な歌曲、そして世界の人々から愛されて止まないイタリアの映画音楽と、一流なれど決してテクニックの誇示ではない、いかにもイタリアらしい、織りなされる音と音との狭間に生まれる感性の揺らぎを感じさせてくれるものばかり。日本にはあまり味わうことのない、そして本場のイタリアでも高い評価を受けている究極の絡みをお聴きいただきたい。



ファビオ・スプルッツォラ *Fabio Spruzzola* ギター

ミラノのヴェルディ音楽院を卒業。80年前半より数々の国際コンクールに入賞してソロのギターリストとしての頭角を現す。スカラ座をはじめ、同じくミラノにあるピッコロ劇場、ジュネーブの歌劇場などに出演、ヴェルディ、ドニゼッティ、ロッシーニなどオペラ作品に登場するギターソロ部門を担当している。近年ではスカラ座室内楽団、スカラ座六重奏団、ベルガモ歌劇場のアンサンブルのソロ奏者として活躍。ミラノのヴェルディ音楽院、ヴェローナ音楽院などで後進の指導にあたる。トリオの演奏する楽曲アレンジすべてはファビオが行っている。



ロマーノ・ブッチ *Romano Pucci* フルート

ローマのサンタ・チェチーリア音楽院を卒業。1980年、イタリア国営ラジオスイスの国際オーケストラコンクールの優勝者となり、優雅な音楽性と卓越したテクニックをイタリア内外に披露することになる。30年近くをスカラ座フィルハーモニー管弦楽団の首席フルート奏者として活躍。リッカルド・ムーティはじめ多くの著名指揮者、演奏家と共演しながらオペラ・バレエにおけるフルートの首席奏者として重責を果たしてきた。同劇場の来日公演にも参加。スカラ座定年後は自らが中心となる様々なアンサンブル活動を展開。そのひとつにアンサンブル・クラシカ・トリオもありリーダーを務めている。



イヴァーノ・ブランビッラ *Ivano Brambilla* クラリネット & マンドリン

ミラノにあるヴェルディ音楽院室内楽団のソリストを務める一方、ミラノを本拠とするボメリッジ・ムジカリー管弦楽団の団員としても活動中。シトラスブルグ宮殿、テキサス工科大学、コロンバス大学や北京クラリネットフェスティバル、オステンドクラリネットフェスティバルにオーケストラ、また室内楽団のメンバーとして参加している。クラリネット奏者としての評価はもちろん、マンドリンを奏でても秀逸。数多くの楽器を巧みに操る天才肌である。

公益財団法人 恵那市文化振興会 公式サイト



文化の窓



Instagram



X